



八松小だより

学校教育目標

「心豊かな人間性を養い、自ら学び
自ら行動する子どもを育てる」
合言葉「私ってすごい！みんなすごい
やったぞ！できたぞ！の声がいっぱい！」



2025年（令和7年）5月号

今の頑張りをともに見つめて

校長 瀧谷 典子

新年度が始まって1か月。子どもたちは、新しい友達や先生との出会いの中で、少しずつ緊張をほぐしながら、自分なりのペースで学校生活に慣れてきています。初めての環境にとまどいながらも、「できた！」「わかった！」という嬉しさや、「明日はもっとこうしてみよう」という前向きな気持ちを日々積み重ねている様子が見られます。

この時期は、友達との関係づくりに悩むお子さんもいます。話しかけたいけれど勇気が出ない、自分から入っていくのが苦手……そんな思いを抱えて過ごしている子も少なくありません。周りにうまくなじめず、ぼつんとしている姿を見ると、ご家庭でも「どうしたらいいのか」と心配になったり、「早く輪に入ってほしい」と焦るお気持ちになったりすることもあると思います。でも、子どもたちは、それぞれ異なるリズムやタイミングで、少しずつ関係を築こうとしています。大人があせらずに、「あなたはあなたのペースでいいよ」と伝えてあげることが、子どもにとって大きな支えになります。

学習につまずきを感じていたり、忘れ物が続いて気持ちが沈みがちになっていたりするお子さんもいます。周囲の子と比べてしまうと、つい「なんでできないの？」「また忘れちゃったの？」と声をかけたくなることもあるかもしれません。でも、そんなときこそ、「できたこと」や「気をつけようとした気持ち」に目を向けていただけたらと思います。

学習につまずきを感じているお子さんには、できていないところばかりではなく、「できていること」「がんばっていること」に目を向けてあげることがとても大切です。そして、すぐに結果が出なくても、「あきらめずに続けること」に価値があることを、周りの大人が伝えていけたらと思います。例えば、「さっきは最後まで話を聞いたね」「昨日よりも落ち着いてプリントに取り組めたね」「そのやり方、工夫していていいね」など、小さな成長や工夫に気づいて声をかけることが、子どもにとっては大きな励ましになります。

忘れ物が続くと、授業への参加がうまくいかず、やる気を失ってしまうこともあります。だからこそ、まず大切なのは、本人自身が「気をつけなきゃ」「このままではいけない」と自分で気づくこと。その気づきが、前向きな変化の第一歩になります。忘れやすいお子さんには、ご家庭でも、前日のうちに一緒に持ち物を確認したり、チェックリストを活用したりするなど、無理のない範囲で工夫していただくのも良いかもしれません。ただし、保護者の方がすべてを先回りして整えてしまうと、子どもが自分で考え、改善しようとする機会が少なくなってしまいます。「どうすれば忘れずに準備できるか」を子ども自身が試行錯誤できるよう、そっと見守るようなかわり方が、自立への大切なステップになります。

家庭でできるサポートは、けっして特別なことばかりではありません。「今日は疲れているみたいだね」「明日は上履き、持っていこうね」と、日々のやりとりの中で気持ちに寄り添っていただけたら、それだけで子どもは安心します。子どもたちにとって「気づいてもらえた」「わかってくれた」という経験が、安心して前を向いて進んでいこうとする大きな支えになります。

また、そうした心の安定を育てるために、毎日の生活習慣も大切です。朝ごはんを食べることで、脳にエネルギーが行きわたり、集中力や思考力が高まります。朝の機嫌の良さや、気持ちの切り替えのスムーズさにも影響します。夜の睡眠は、体の成長だけでなく、心の整理にも大切な時間です。学校と家庭とで手を取り合いながら、一人ひとりの歩みに寄り添える5月にしたいと思います。



5月の目標

1学期の目標

元気よくあいさつをしましょう

生活目標

友だちをたくさんつくろう

保健目標

見つかった病気は早く治そう

給食指導の目標

食事の準備と後片付けをきちんとしよう



5月の行事予定

個人面談

お子さんのことをいっしょに話しましょう

5月には個人面談を予定しています。お忙しいなかご協力いただき、ありがとうございます。ご家庭でのご様子や、最近の気がかりなこと、ささいなことでも、ぜひお話を聞かせてください。担任からも、学校でのお子さんの姿をお伝えしながら、これからの見通しを一緒に考えていけたらと思っています。子どもを中心に、家庭と学校があたたくつながることが、何よりの安心につながります。



～いざというときのために～

引き渡し訓練にご協力ください

6月2日（月）13時40分～

6月2日（月）に予定している引き渡し訓練は、災害時にお子さんを安全に家庭に引き渡すための大切な訓練です。

実際に震度5弱以上の地震が発生した場合には、学校からの一斉メールなどは送信せず、防災マニュアルに従い、保護者の皆様が直接学校へお子さんを迎えに来ることになっています。連絡を待つのではなく、速やかに学校へお迎えに来ていただくこととなります。

近年、共働きのご家庭が増えていることもあり、引き渡し訓練への参加が難しいと感じられる方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、この訓練は「学校だけが行うもの」ではなく、「ご家庭と一緒に行う訓練」です。いざというときに備えて、保護者の方とお子さんが実際に学校から一緒に下校しながら、地域の危険箇所や安全な帰宅ルートを確認することには大きな意義があります。

子どもたちに防災意識を育てるには、大人が真剣に取り組む姿勢を見せることが、なによりの学びとなります。

「忙しい中でも、こうして一緒に帰れる時間がとれてよかった」と感じてくださる方も毎年いらっしゃいます。ご都合がつく限りでかまいませんので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。詳細のお知らせは、後日、配付します。

また、『2025年度版 緊急時・災害時の学校の対応について』の要保存の色付き用紙を配付しました。よくお読みいただき各家庭で保管をお願いします。

配付した八松小だよりの通りです。



始業式・着任式

新しいスタートに、わくわくの気持ちをのせて

4月7日（月）、風に吹かれ、校庭の桜の花びらがやさしく舞い散る中で、2025年度の学校生活が始まりました。

始業式・着任式では、たくさんの新しい先生方を迎え、子どもたちもそれぞれ進級して、新たな気持ちでスタートを切りました。大人も子どもも少しの緊張と、でもそれ以上に「さあ、がんばろぞ」という前向きな気持ちを感じられました。

始業式では、私は子どもたちに「今年も、安心して楽しく過ごせる学校を、みんなで一緒につくっていこう」と呼びかけました。新しいことを学ぶのは、ちょっとドキドキもするけれど、できたときの嬉しさは特別なもの。そんな学びの楽しさを味わってほしいという思いを伝えました。

また、掃除や給食当番などの活動も、友達と力を合わせれば、あっという間に終わって、気持ちよく取り組めること。そして、もし困っている友達を見かけたら、そっと「大丈夫？」と声をかけるような、優しさのある学校にしていきたい。そんな願いも込めました。

始業式では、6年生の代表児童が、新年度の抱負を堂々とスピーチしました。「学習をがんばりたい」「下学年の手本になり、みんなを引っ張っていきけるようになりたい」など最高学年としての自覚と頼もしさを感じさせてくれました。

子どもたちが、自分のペースで少しずつ力をのばしていけるよう、学校全体であたたかく見守っていききたいと思えます。



入学式

ようこそ一年生！はじまりの日に伝えたこと

入学式を行いました。今年度は107名の新一年生が仲間入りし、学校に新しい風が吹き込まれました。

入学式では、一年生が少し緊張した表情を見せながらも、最後までしっかりと話を聞いてくれました。そんな姿に、これからの成長への期待がふくらみます。

式の中で、私は一年生に向けて、こんなお話をしました。

「みなさんが入学してくるのを、ずっと楽しみに待っていました。これから学校では、お勉強をしたり、お友達と遊んだりしていきます。勉強では、“どうしてかな？”“なんでだろう？”と考えることがとても大切です。わからないことがあっても大丈夫。少しずつ、できるようになっていきましょう。そして、まわりで困っているお友達を見かけたら、“どうしたの？”と声をかけてほしいと思います。」

また、保護者の皆様には、これから学校とご家庭とが連携しながら、お子さんの成長と一緒に見守っていくこと、そして「もし、お子さんのことで困ったことや悩まれることがあったときには、一人で抱えずに、ぜひ一緒に考えていきましょう」とお伝えしました。

楽しく学びながら、少しずつ「できた！」を増やし、優しい気持ちを育てていけたらと思います。新しい毎日が、安心して楽しく過ごせるものになるよう、教職員一同で丁寧にかかわってまいります。



離任式 ありがとう、教頭先生



4月8日（火）、離任式を行い、1年間本校で子どもたちや職員を支えてくださった教頭先生をお送りしました。短い期間ではありましたが、いつも学校全体をあたたかく見守り、影で支えてくださった教頭先生。子どもたちへの優しいまなざしと的確な働きかけに、多くの場面で助けていただきました。

離任式では、教頭先生が子どもたちに向けて、「八松小の子どもたちのよいところを、たくさん見つけることができました。」と語ってくださいました。そして、「これからもチャレンジする気持ちをもって、なりたい自分に向かって努力することがとても大切です。」と、励ましの言葉を残してくださいました。教頭先生のあたたかい話を、子どもたちも真剣な表情で聞き入っていました。新しい場所でもご活躍をお祈りするとともに、八松小でもともに過ごした時間を、子どもたちの心の中にも大切に刻んでほしいと思います。



笑顔とやさしさに包まれた対面式

4月23日（水）八松小学校の体育館で、新1年生と在校生の対面式が行われました。初めに、私から優しい言葉がけについて話をしました。困っている友だちを見かけたら、『どうしたの？』と声をかけてみましょう。『いっしょにやろうか？』と、優しい気持ちを周りに届けられる人になってほしいと語りかけました。

次に、6年生代表の児童が新1年生に向けて歓迎の言葉を述べました。「困ったことがあったら、いつでも上の学年のお兄さん、お姉さんに聞いてね」と優しく呼びかけました。また、八松小学校のおすすめポイントとして、給食の揚げパンがサクサクでとてもおいしいことや、先生たちが休み時間に一緒に遊んでくれたり、優しく相談にのってくれたりすることも紹介しました。新1年生たちも、6年生代表のお兄さんの話を嬉しそうに聞いていました。

続いて、新1年生の代表児童4人が、一人ずつ元気にあいさつをしました。緊張しながらも、「友だちと仲良くしたいです」「運動会のかっこを頑張りたいです」「給食をおいしくきれいに食べたいです」「国語と算数をがんばりたいです」と、それぞれはきはきと自分の目標を発表しました。かわいらしく、頼もしい目標に、上級生たちも温かい拍手を送っていました。

最後に、全校で校歌を斉唱しました。1年生もお兄さん・お姉さんと一緒に大きな声で歌い、体育館に元気な歌声が響き渡りました。全校児童が声を合わせて歌う姿はとても微笑ましく、学校全体がひとつになったようです。笑顔があふれる心温まる対面式となり、新1年生にとっても不安が楽しみに変わる素敵な時間になったことでしょう。これからも、思いやりの心を大切に、みんなが素敵な学校生活を築いていきましょう。



～ありがとうの気持ちをこめて～

「おはようございます」

あいさつの種まき



毎朝、通学路に立ってくださっている「おはようボランティア」の皆さん。雨の日も風の日も、暑さや寒さにも負けず、変わらぬ笑顔で子どもたちを見守り、「おはようございます」と声をかけてくださっています。

あるボランティアの方から、こんな話をうかがいました。「最近、お子さんと一緒に登校される保護者の方がいても、あいさつが返ってこないことが多くて、少しさみしい気持ちになります。子どもたちも大人の様子を見ているので、自然とあいさつをしなくなってしまうように感じます。」

あいさつは、気持ちをつなぐ大切な第一歩です。そして、子どもたちは、身近な大人のふるまいを見て、日々たくさんのことを学んでいます。だからこそ、私たち大人が「おはようございます」「いつもありがとうございます」と言葉を交わす姿を見せることが、子どもたちのあいさつの種まきになるのではないかと思います。

朝の通学時、ベストを着た「おはようボランティア」さんを見かけたら、ぜひ保護者の皆さまからも一声、あいさつをしていただけたら嬉しいです。その一言が、地域のあたたかなつながりを育て、子どもたちの未来につながっていくことと思います。



1年生の給食が始まりました

1年生は、給食の当番活動や片付けなど自分たちでできることを頑張っており取り組んでいます。飲み終わった牛乳パックを開くところは少し難しいので、6年生が優しく手伝ってくれています。

